

“浜松花と緑の祭り2023” 出展活動報告

2023年の“浜松花と緑の祭り”の催事にNPO 森林インストラクターしずおかとして参加したのでご報告いたします。

- 1, 催事名 浜松花と緑の祭り
- 2, 日時 2023年10月14日(土)15日(日) 9時~16時
- 3, 場所 浜松アクト通り ブースNPO 森林インストラクターしずおか(西部)
- 4, 参加インストラクター 内山 担当廣野
- 5, 出展内容
 - 1, 木の名前当てクイズ 昨年と同様 木の実コース 散歩道コース
回答者には粗品として ヘチマのたわし進呈
 - 2, パズルクラフト 体験 販売 おまけにどんぐりコマ
- 6, 結果

		14日	15日	
木の名前当てクイズ	木の実コース	26	10	
	散歩コース	21	8	
		47	18	合計 65
パズルクラフト	制作体験	21	17	
	キット販売	4	2	
		25	19	合計 44

総合所感(廣野)

出展数は42店で昨年より2店ほど増え、主体は花、緑、植木緑化ボランティアなどで我々はその末席かな。コロナに対する警戒も緩和され対面での制作体験もできるようになり、コロナ前に戻った気がします。今年は私の知人がブースをアケビやカラスウリの蔓、シラカシやクヌギの木の枝などで森林インストラクターらしく飾ってくれました。これまでと違ったブースの味が出たと思います。

木の名前当てクイズは担当者の営業活動が上手いこともあって例年通り人気が高く、中年から高齢の女性はその大半を占めていました。そのお流れでクラフトも予定数の90%が販売できました。

総じてまずまずの交流ができたのかなと思います。

個別所感1 (内山)

心配した二日目・15(日)の雨は10時頃には上がり、大きな影響がなく安堵しました。クイズの景品に用意したヘチマたわし(54個)は1日目でほぼ終わり、二日目は飾り物を切って数を増やしましたが、午前で終わってしまいました。急ぎょ用意したカラスウリの種を「打ち出の小槌」と見立てて話を誘い、財布に入れてもらい、来年の募金箱への投入を期待する旨などを伝えました。

個別所感2 (廣野)

1日目:コロナの時は販売だけなのだが、今回は制作と販売の両面を一人で対応しなければならないと思っていたが、内山さんのお孫さん(高3女性)が助っ人に来てくれました。少しのレクチャーで手順良く対応してくれて、本当に助かりました。対面した子どものお母さんが「この方は教え方が上手ですね」とほめられたのが印象的で、この爺ちゃんにしてこの孫ありかな。

ブースに飾ったアケビが珍しく、立ち止まってしげしげと観察する方もおり会話のきっかけになりました。またクヌギやクリがついた枝にも興味を持って見入っていました。そんな意味でこの装飾は大変意義があったと思います。

二日目:朝は雨で午前は人出が少なかったものの、午後からは天気の回復とともに人の出も多くなり、終了時刻になっても客が絶えないため少し時間の延長するほど盛況でした。

静岡から来た先生という女性のお客は写真を丁寧に撮っていました。聞くと藤田さんの亡くなられたことを知っていて、以来のファンらしく、子どもたちにネイチャークラフトを教える材料にしているとのこと。製作体験2点とパズルキッ1点、計3点も買われました。このようなお客さんが来てくれて、何かほっこりした気持ちになりました。



蔓や木の枝の飾りつけ



本部周辺の賑わい まだ少ない



木の名前クイズの記入者



パズルクラフト サンプル



木の名前クイズ：(左) 木の実コース、(右) 散歩コース



クイズの記入者は絶えることなく